

かがやき

令和2年12月25日(金)
多摩市立連光寺小学校
特別支援教室 かがやき学級
学級通信 NO. 9

「1年が過ぎて、新しい1年へ」



この1年は本当に多くのことを考えさせられる年となりました。日々迫られる変化の中で私たちは1日1日を様々に考え、思いながら生活してきたように思います。多くの制約が学校生活を覆う状況も続いています。今まで気がつかないことを新しく考えたり発見したりすることもあった1年でもあったと思います。自然の変化。季節の移り変わり。新しく出会った本。映画。普段意識しなかった人と人のかかわりの大切さ。何気なく感じて見ていたことの中に気が付くことが多くなったことは見方を変えれば「心の豊かさ」の再発見でもあったと言えるかもしれません。どのような状況でも日々は進んでいきます。1年は過ぎていきます。その中で、「こころ豊かに良く生活していく」と思えることを考えて新しい1年を迎えていければと思います。本年、かがやき学級の指導にご協力いただきありがとうございました。来年もよろしくお願ひします。

自分を「ふりかえる」こと2

「自分が成長できたことは何か。」卒業が迫る高学年の個別指導の中で聞くことがあります。今日はその中からいくつかの発言を紹介します。「うん、優しくなったかな。態度とか、ことばとか」「前はできていなこともあったけど、今はできるかな(授業態度等)」「人に教えてあげることが増えた。」「まあ、ちゃんとやってるようになったかなあ。(授業等)」6年生なりの解釈ではありますが、一人一人が自分の中に成長できた「何か」をもっているのだと感じました。まだまだ「この先」に向かっている高学年。卒業文集制作を通して自分と向き合う時間が増えていると思います。自分がこれまでに何と向かい合ってきたのか。小学校生活最後の成長を見せてくれている6年生。後期後半の1月に入っていきます。



「言葉」を補ってみてわかること

「めんどくさい」「つまらない」。課題に詰まっている子からよくこんな言葉を耳にします。そんなとき、個別指導等の時間で少しゆっくり話を聞きます。なかなか伝えることが難しいこともありますが、言葉を少しずつ補って話を聞いていきます。そうすると実は課題に対して「難しい」や「苦手」だという気持ちが出てくる場合があります。実は小さい字を書くことが難しい。自分で読むのは好きだけど音読するのは苦手。たくさん人がいると落ち着かない。等々。大人も自分の中にある課題に対しての思いがこうした「感覚」と関係していることは説明することが難しいですね。ついつい「たらぬたらぬ我慢がたらぬ」と言いたくなってしまうことも多いのですが、子どもの言葉を補いながら話を聞いていくと「実はね」と気が付くことも多くあります。子ども自身が気が付くことで方法を変えたり、課題への見通し(難易度)を確認して取り組んだりすることもできます。意図に反して(急けてる・さぼってるではない)怒られることも減ります。子どもが発する一つ一つの言葉を「補う」ことを大事にしていきたいなあと思いました。

～お知らせ・お願ひ～

☆年明けのかがやき学級の指導開始は1月18日(月)を予定しています。

☆1年～5年生までの保護者面談を2月上旬より予定しています(12月25日現在)。



詳細が決まり次第お伝えします。

(今年度の指導内容について。新年度に向けた指導内容、課題についてお話ししたいと思います。)